

～What does not kill me makes me stronger～ 成長を感じた米国留学

人文学部社会科学科 3年 比屋根利紀

気が付けば季節も変わり、約7か月のテネシー工科大学での留学生活も終わりを迎えていました。アメリカに半年以上滞在しましたが、過ぎた時間があっという間の一瞬の出来事であったかのように感じ、また滞在したクックビルという穏やかな田舎町を今では第2の故郷のような郷愁さえ覚えるほど留学生活は充実しておりました。



物事への考え方や価値観は留学前とは大きく異なっており、自らの成長を感じています。

参加したのは、3か月の語学留学を踏まえて、学部留学を1セミスターするプログラムでした。様々な国の出身者が通う語学学校が始まった当初はアクセントの異なる英語を聞き取ることが出来ずに何度も相手に聞き直すことも少なくありませんでした。



英会話力も十分ではなかったため、文法に加えて発音やアクセントに注意を払いながら話すように心掛けていました。当初抱いていた不安は学習を重ねることで自信へと変わり、英語についてはしっかりと準備をした状態で学部留学をスタートさせることができました。

会話レベルの英語力はすでに身につけていたため、アドバイザーの先生と相談し、留学生のための英語クラスを1つ、専門的な学術クラスを3つ取ることに決めました。

専攻を英語で学ぶことについて留学の目的の一つとしていたため、多少の不安はあ



ったものの、大学での授業を楽しみにしていました。

実際に授業が始まると、想像以上に難しく、初めの1か月のほとんどの時間を予習、復習のために図書館で費やしていました。学期前に集中的に英語を学んでいたために講義内容を聞き取ることは難しくはありませんでしたが、単語が学術クラスなため内容を完璧に理解することが出来ませんでした。



クラスメイトのほとんどはネイティブスピーカーのため、語学学校の生徒とは違い、話す量や速さは2倍以上に感じ、ディスカッションでは相手の意見を聞き取ることに苦労しました。

講義内容も学術レベルであったため、教授の質問に対する考えを日本語でも考えることが出来ずに、自分の意見をうまく主張することも出来ませんでした。

上手くいかずに日本へ逃げ帰りたくもなりましたが、あきらめずに勉強を続けることでその成果は徐々に出始めました。

毎日の学習を続けることでリーディングやライティングのスピードが上がり、以前より短時間で同じ量をこなすことが可能となりました。読み書き以外にも英語を話す機会を増やし、生活を英語漬けにしていくことで頭をいわゆる英語脳に変えていきました。



そのような努力を続けることで英語のインプット、アウトプットも速くなっていきました。理解が可能となるレベルまで英語を向上させたため授業も楽しく感じるようになり、今ではあの辛かった図書館での学習時間に感謝しています。

勉強が留学の目的ではありますが、地域を旅行することも欠かすことが出来ません。クックビル周辺は自然に恵まれていたため自然の中でレジャーを楽しみました。

長期休暇を利用しニューヨークシティやワシントン DC、マイアミといった観光名所を訪問して楽しみました。アメリカでは移動の選択肢が多く、特にバスで移動すれば安く旅行できます。

確かに地域によっては治安が良くないこともあります。注意をきちんと払えば事件に巻き込まれる可能性を下げる事が出来ます。何よりも魅力的な大都市での観光

に加えて、留學生活で鍛えた英語を試す場にもなり、とてもいい経験を積むことができます。

In the end, I would like to share what I learned from this study abroad in Tennessee Tech University in English. It is easy for Japanese people to find differences in the US, such as food, culture, life-style and character, but it is difficult for them to get used to American culture; thus many Japanese students surely face to problems caused by a gap between Japan and the US.

However, I got to think such an experience made students stronger as a person after the end of my life in the US even though hard problems make students miss their country. I learned not only English but also various thoughts or clues getting my life wonderful so all things did not kill us always made us better, stronger and super.

Now, I want students who want to study abroad to think about a purpose of going to a foreign county; why want to go, what hope to do and how wish to be like there. It is because that we students are able to do what we want to and be a person like who we wish to be as long as we do not give up, and have a dream. (End)

注、注、見出しの What does not kill me makes me stronger は、比屋根さんによると、「艱難汝を玉にす (Adversity makes a man wise)」と同じような意味ということです。「自分を殺さないような体験は、自分をより強くする」ということでしょうか。